



Rotary
Club of KOBE EAST

The Rotary club of Kobe East BULLETIN



神戸東ロータリークラブ会報

No.397 2022-2023 No.2

表紙絵：太原 震也元会員

会 長／井元 憲生 副会長／梅田 稔 幹 事／鈴木 祐一
広報委員長／高橋 恵信 副委員長／小谷 哲也
例会場：ホテルオークラ神戸 例会曜日：毎週火曜日



クラブ会長テーマ Wind of Smile “笑顔の風” 運ぶクラブを目指して



RI President

JENNIFER JONES
2022-2023年度国際ロータリー会長





第1回会員親睦会を笑顔あり! お酒あり! で開催しました



10月18日に神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて第1回会員親睦会を65名参加で行うことができました。

井元会長ご挨拶と小倉会員による乾杯から始まった親睦会は伴会員によるプロさながらの司会と趣向を凝らした料理を楽しみ、神戸市小規模花火イベント「みなと HANABI」の15分間の迫力のある花火をバルコニーから眺めることができました。花火後は神戸出身の素敵なマジシャン・アヤナさんによるカードマジックなど会員を巻き込んだマジックショーと最近ご入会された池田知聡さん、伴 裕美

さん、大井竜介さん、西村公志さんによる新会員自己紹介、12同好会による愉快的な同好会アピールタイムで大いに盛り上がりました。

親睦会終了後も、交通規制解除が落ち着くまでの間、1階 Sea's のパースペースにて会員の皆さんとの歓談の場を設け、非常に内容の濃いイベントを行うことができました。

はじめての設営でしたが親睦委員会の結束につながる非常に良い経験となりました。

(親睦委員長 森本 光一)





米山記念奨学生 段 鐘玲

「内モンゴル育ち」

皆様、こんにちは。ロータリー米山奨学生の段鐘玲と申します。卓話のタイトルにある通り、本日は自己紹介と出身地の話をさせて頂きたいと思えます。

私は学部時代に神戸大学の法学部に所属し、現在は神戸大学法学研究科修士2年生です。大学院では知的財産法を専攻しており、独占禁止法にも興味があったので、特許法・独禁法における特許権行使の制限を中心に修士論文を固めています。

そもそもなぜ「内モンゴル育ち」をテーマにしたかと言いますと、卓話を機に日本とのつながりを振り返って見たら、日本への留学や法律を学ぶとの選択の裏に、「内モンゴル育ち」が大きく影響を果てしています。

地図から見る中国の形をニワトリとするのであれば、私の故郷である「内モンゴル自治区呼和浩特市」は、ニワトリの背中部分にあります。東西の直線距離でも約2400km以上ある内モンゴルは、自治区内の日の出の時間が2時間くらい異なる他、特徴的なのは、内モンゴルの町中の看板に、民族言語表示義務によるモンゴル語と中国語両言語の表示がなされます。バス車内のアナウンスも、両言語と英語が放送されます。

内モンゴル内の草原の過放牧により沙漠化が進む中、数十年前から日本人の専門家や企業が内モンゴ

ルと協力して、砂丘固定するための植林プロジェクトがなされてきました。日中関係が悪化した時期でも、反日的なのイベントがあったものの、学術と文化の交流が継続されていました。新聞とは異なる日本の一面が見え、ギャップを感じたのも、日本へ留学を決めた一因でした。

最後に、少し特殊な制度である「巡回法廷」をご紹介します。

「巡回法廷」とは、裁判所に行くのではなく、裁判所が来るようなイメージです。管轄内であるが法院の所在地から遠く離れているところ（例えば草原の奥地や深い山の中）までに、定期もしくは不定期（トラブルがあった際）に出張しに行く日本の簡易裁判所にあたる基層人民法院の一形態のことです。これらの地域では、特殊な地理環境により道が整備されていないところが、整備しようがないような場所もあるため、吊り索のみで渓谷をわたることや、馬を乗って向かうこともあります。そして巡回法廷自体は、基本的に裁判官、書記官の二人で最小単位を構成します。人が少ないものの、トラブルの解決はもちろん、都会から遠く離れて民族文化や宗教などの違いによって「人治」に偏りやすい地域に、民族文化を尊重した上「法治」を果たせる役割も持っています。

なぜここでぜひ巡回法廷の紹介をしたいかと言いますと、私の夢と関連しています。

巡回法廷の行先は、民族自治区や各地域の奥地である場合が少なくありません。これらのところは、ご当地の言語のみが通じるのはよくあることで、そしてその地域特有な文化や民族慣習を、紛争解決の際に特に注意した上尊重しなければなりません。そのため、中国語はもちろん、ご当地の言語も文化もしっかり理解できる者が巡回法廷の裁判官として選任されるのは一般的です。むしろ、このよう多民族、多文化を身に染み込ませたつなぎ役の裁判官があるからこそ、この特殊な制度が成り立っています。

中国で育って、日本で法律を学んで、日中両国の言語と文化を理解した上で、巡回法廷の裁判官のようにつなぎ役として、グローバルに活躍できる弁護士になるのは、今の目標です。この目標に向かって、ロータリー米山奨学生として頑張っていきたいと思えます。

ご清聴ありがとうございました。



学友会兵庫 OB 麦 嘉輝
合同会社アニハンス 代表

「夢を形にする」

今回のテーマは『夢を形にする』

「なぜ日本に来たの？」って外国人に良く聞かれる。

僕の場合、その理由はアニメにある。幼い頃に日本アニメを知り、そこから日本に興味を持つようになった。一度でいいから日本に行ってみたくは僕は思った。

そして、少し大きくなって宮崎駿、押井守、今敏などの日本アニメ監督の作品に圧倒され、いつかアニメを仕事にできて、さらにアニメの監督になれたらと志して、高校卒業後日本に来た。

神戸芸術工科大学でアニメを勉強した。アニメと言っても様々な職があるが、僕が専門としているのは美術である。

そして、大学院にはいった。後でわかったがこれは私の人生の転換期だった。

ロータリー米山奨学生に選ばれて、一人の奨学生となり、いろんな素晴らしい人と出会った。

卒業後京都のアニメ会社に入社し、様々なアニメ作品に携わった。

そして、3年前会社を成立した。目指していたのは単なるリアルな映像ではなく、世界観を背負う心

の中の風景。

その魅力的な中国の文明のあらゆる世界観をアニハンスの美学でデザインし、形にできる。そして中国のアニメはこれからだという思いを込めて、会社名を「アニハンス」と名付けた。

日本に来て12年になった。

長年アニメを追いかけてきた。アニメーション制作はスケジュールが厳しく、そして重労働で、無休で何ヶ月間働いて、何日間も徹夜で仕事をしてもおかしくない業界であると知られているが、ついに今年の3月に3日間仕事をし続けた私は虫垂炎で倒れた。

「自分何のためにアニメ作っているんやろう」と病院に寝転んでいる時ずっと考えていた。

その中一番考えさせられたのはつい最近仕事で中村哲さんの物語を作ってる時のことだった。

その作品の映像の中に、アフガニスタンの人がこう言った。

「私達の願いは一日3回食事ができること、家族と暮らすこと、この2つだけです。」

私は学友会の会長になって間もないごろ、学友総会に参加した。そこでとある学友がこう言った「本気で平和について語りたい、話せる場を作りたい」と、この言葉は、僕の中でずっと響いていた。

「武」という漢字は、「戈」（武器、戦争）と「止」2つの字で成り立っている。戈を止めるのが武の本義である。中村哲さんの生き方こそ武器を使わず戦争をやめさせる本当の人道であり、本当の平和と僕は思う。これこそ、ロータリー精神なのではないかと。

人々はよく「平和」を願う。しかし私の考えは平和は願うものではなく、分けるものである。自分が得た知恵や幸せを人々に分けることこそ平和になれるのです。

アニメーターの僕は何ができるのかというと、美を作ることです。夢の世界を形にし、人々に幸せを感じさせることこそ、私の夢である。



ポリオ撲滅チャリティーコンペを小野ゴルフ倶楽部で開催



今期、ファンレイジングトして、ポリオプラスへの2680地区目標である1人当たり40ドルの寄付をして頂くのと同時に2022年10月31日、小野ゴルフ倶楽部で行われたポリオ撲滅チャリティーゴルフコンペには、117名のご参加を頂き、その内、当クラブからは、3組11名のご参加を頂きました。あらためて御礼申し上げます。お陰様で、ポリオグッ

ズ、当日チャリティーを含めて、合計1,017,380円のご寄付を頂くこととなり、大変嬉しく思います。この大切な寄付金は、ロータリー日本財団へ責任をもってご送金させていただきます。ありがとうございました。

(地区ロータリー財団委員会 資金推進小委員会
委員長 松井 照男)

第7回 kobeっこ親善ラグビー大会を開催・協賛しました





11月21日、しあわせの村。気持ちのいい快晴のもと、整備された芝生の上でかわいらしい保育園児たちの親善ラグビー大会が開催されました。神戸東ロータリークラブはこの大会の協賛をしております。

園児たちは日ごろの練習成果を存分に発揮し、張り切って試合に臨んでいるようでした。

試合後の表彰を受けたちびっ子たちはあふれんば

かりの笑顔浮かべ、大好きなラグビーの試合が出来たことに大変うれしそうでした。

大会は井元会長の閉会挨拶で締めくくられ、無事終了しました。

また大会には多くの神戸東ロータリークラブ会員の広告による協賛が含まれていることを付け加えておきます。

(青少年奉仕委員長 池上 勝義)



第 2680 地区ロータリー財団委員会資金推進小委員会
委員長 松井 照男

「世界で良いことをする為のポリオプラス・
ロータリーカード・資金推進の
合同財団寄付促進プロジェクト」

日頃は地区の運営にご指導・ご鞭撻を賜り御礼を申し上げます。

昨年度 RI 会長のシェカール・メータ氏が昨年度活動方針の中で、私にとって奉仕とは、自分よりほかの人のことを先に考えることであり、自分が地上に占める空間に対して支払う家賃という信条を持つようになりまして、おっしゃっています、そんな思いから「奉仕しようみんなの人生を豊かにするため」という活動方針を打ち出されました。

今年度 RI 会長のジェニファー・ジョーンズ氏は、会長テーマとして「イマジン ロータリー」を発表されました。これは、世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現の為にロータリーの情報力、企画力、行動力、人脈を最大限生かすようという思いが込められております。

また、今年度 2680 地区ガバナーの阪上英樹氏は、「Let's Enjoy Rotary !!」というテーマを発表されました。これは、全てのロータリー活動が「ロータ

リーが楽しむ場」になることを重点に置くことにより、スムーズなクラブ運営と奉仕活動の充実及び財団への関心を深めていくことが目的であると思われます。

昨年度は、久しぶりに年次基金目標額の 1 人当たり /160 ドルを超え、162.23 ドルを達する事が出来ました。この快挙に対し、賛同して頂き、目標額を上回ったクラブがこの度、26 クラブございました。誠にありがたい次第であります。

そこで、更に、ご理解ご協力を賜るため、今年度、資金推進小委員会では、表題にもございます通り「世界で良いことをする為のポリオプラス・ロータリーカード・資金推進の合同財団寄付促進プロジェクト」を立ち上げました。

ポリオの根絶は、寄付と活動に対して決して手を緩めては、根絶を成し得る事ができません。目指す意味をご理解いただき、推進活動にご協力を宜しくお願い申し上げます。又ポリオ財源の確保に必要なロータリーカードの普及についても同様に宜しくお願い致します。

では、年次基金やポリオ基金の目標額に対する寄付金の推移及び現状説明を致します。

過去 10 年間 1 人当たりの年次基金目標額は、2012 年 100 ドル、2013～2017 年 15,000 円、以降毎年 160 ドルの設定となっています。ポリオの寄付は、2012～2015 年は、目標額設定なし、2016 年に 2,000 円、以降 30 ドルが続き近年 40 ドルを目標としておりますがポリオの目標額については、案外周知していなく、認識が薄いような気がします。

7 つ重点分野①平和構築と紛争予防：Azure ②疾病予防と治療：Cardinal ③水と衛生：Sky Blue ④母子の健康：Violet ⑤基本的教育と識字率向上：Orange ⑥地域社会の経済発展：Turquoise ⑦環境：Grass は、全ての奉仕の基礎となります。又、グローバル補助金の申請については、奉仕活動が各項目に



当てはまるということをきちんとチェックしていません。

ポリオの根絶に関しては疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、しいては、地域社会の経済発展と非常に大きくつながっていく大切な活動であります。その重要性ご理解いただくためのビデオをご覧くださいと思います。

【ポリオ根絶活動 2670 地区作成のビデオ鑑賞】

11 月財団ニュースから【野生型ポリオウイルスによる症例数】の報告を紹介します。

常在国はパキスタン・アフガニスタン、非常在国はモザンビーク・マラウイで、世界合計では 2019 年 176 症例、2020 年 140 症例、2021 年 6 症例 2022 年 1 月 1 日～10 月 25 日まで 29 症例です。水の衛生の悪い発展途上国では蔓延しやすい為、全員接種する必要があります。1 人感染するとねずみ講のように増えてしまいますので、根絶しなければなりません。人から人へうつる宿所はあくまでも人であります。

今年の世界ポリオデーは 10 月 24 日（月）でした。ポリオ根絶のためにロータリーでは、「ファンドレイジングと認識向上」の 2 つを進めています。ファンドレイジングとして、ポリオプラスへ 1 人当たり 40 ドルの寄付をしていただきたいと思います。10 月 31 日に小野ゴルフ倶楽部で行われたゴルフコンペには 117 名のご参加をいただき、会費の中から 5,000 円をポリオに寄付していただきました。また入口の受付でポリオのポロシャツ等のグッズを販売して利益を寄付に回しました。当日商品を当てられた方に寄付していただいた分もあります。

次に認識向上についてです。3 年ぶりに神戸まつりのパレードが 2023 年 5 月 21 日（日）に行われることが決定しました。幼稚園児 100 名、ロータリアン・米山奨学生・学友・ローターアクト総勢

200 名余りの人がパレードに参加させていただく予定です。皆様方には、神戸まつりに行かれた際にはポリオのポロシャツをご着用の上、沿道で手を振っていただければ、パレードに参加した皆さんの士気も上がり、何よりも公共イメージが上がると思いますので、ご協力をよろしくお願い致します。

国際ロータリー財団ではポリオを根絶するために、毎年 5,000 万ドルの寄付金を集めるのが 1 つの目標値となっています。目標値を下回るとビル・ゲイツ財団から 2 倍の寄付金がいただけません。毎年ギリギリのところですが、5,000 万ドルを全世界のロータリアンの数（120 万人）で割ると、1 人当たり 41.7 ドルです。今ポリオ寄付目標額は 1 人当たり 40 ドルなのですが、何分達成していない分、アメリカ、韓国、インドなど寄付額が突出している国が、埋め合わせをしている状況です。又、RI 管理委員会では、2026 年度までのビル・ゲイツ財団の寄付続行の内諾を得ており、不足した場合は、2021 年度～2022 年度会計年度のプログラム補助金を使用することを承認した、それでも不足する場合、RI 理事会 17 名にて最高 250 万ドルを寄付することを同意いたしました。

2680 地区では、何とか慢性的な不足を解消したいものです。この度、目標値 40 ドルを超えられたクラブとしては川西 RC をはじめ 13 クラブです。寄付金集めの対策例としては、サッカー大会でポリオ根絶を啓発、募金箱で寄付を集める、ミリオンダラーミールの例会（ポリオンダラー例会）を実施、1 人当たり 3,000 を集める、理事会承認後 1 人当たり 40 ドルを集める、ニコニコを積極的に行う等々です。ご参考にしていただきたいと思います。

次に、ロータリーカードの推進です。【ビデオ鑑賞】

ロータリーカードには「Orico Card、Dinners Club Card」の 2 種類がありますが、Orico Card は個人用として、Dinners Club Card はクラブの会長

名義でお作りいただくことをお勧めいたします。Dinners Club Cardは現在14クラブが利用していますが、コロナの影響もあり利用が少ないクラブもあります。Orico Cardにつき目標は地区会員数の10%ですが、現在保有83枚です。現在2680地区の会員数は2551名ですので、10%の目標は、255名です。0.3%のポイントは、毎年1月～6月、7～12月と年2回カード会社から集計して3月にRIへ送金される流れです。

クラブと会員の財団寄付への意識向上の為、クラブが所有する認証ポイントの推奨を行ってまいりました、当クラブにおいては、今年度、渡辺委員長の提案によりクラブ認証ポイントの活用をクーポンという形で普及して頂き、多くの会員より寄付を頂くこととなり、あらためて感謝申し上げます。次年度、樋口年度では、クラブ創立70周年の節目にクラブ

と会員の財団寄付への意識向上の為、地区10番目の100%ポールハリスフェロークラブ是非とも目指して頂き、継続的な寄付活動を何卒お願い申し上げます。

ロータリアンは、奉仕をするために入会したわけですから、当然ながらそれを支える財源は必要不可欠であります。多くの奉仕をすることから公共イメージの向上につながり、しいては、そんな活動を一生懸命に行っているロータリークラブに魅力を感じ、入会してくる、新入会員の増強にも繋がるものと信じております。

どうか皆様方には、ご理解を頂き、これからも地区財団委員会一同精一杯、頑張ってまいりますので、何卒ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。





忘年家族会を“笑顔の風”と共に 会員・家族 144 名で開催しました



今年度の忘年家族会は、多くの会員およびご家族の皆様にご参加いただき開催することができました。

参加者の内訳は会員 79 名、会員ご家族大人 48 名、小学生 2 名、幼児 11 名、事務局 4 名の総勢 144 名でした。

井元会長年度最初の家族会でもあるため盛大にまた華やかに笑顔の風を運べるよう様々な企画を御用意しました。

例年通り、コーラス同好会、むつみ会の皆様の合唱ではじまり、井元会長挨拶、乾杯のあと、お食事が進んだあとにはアカペラユニット「8692」のライブを楽しんでいただきました。素晴らしい歌声に感動された方も多かったと思います。

その後、会員の皆様からご寄贈いただきました 140 近くの景品を使わせていただき恒例の抽選会を行いました。景品の数も多かったため大変盛況な抽選会

となりました。

そして今年初めての試みであるベストドレッサー賞の表彰を行いました。今回は「ワインレッドの日」にちなんで赤をテーマに参加者の中から 3 名のファッションリーダーを選出しました。

幹事賞は澤田会員、副会長賞は小林会員ご家族、会長賞は今井会員御夫人となりました。

そして梅田副会長の中締め、参会者全員での「手に手つないで」の合唱で楽しい会もおひらきとなりました。尚、今回の抽選券収入 463,000 円は R 財団および米山奨学金への寄付金とさせていただきます。

ご参加の皆様、ご寄贈品をいただきました皆様、そして今回の忘年家族会開催にあたりご尽力いただきました全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(家族委員長 芳賀 博之)





青陽灘高等支援学校招待ボウリング大会を開催しました



令和5年1月16日(月)、神戸六甲ボウルにて神戸市立青陽灘高等支援学校の生徒の皆さんにボウリングを楽しんで頂く社会奉仕事業を3年ぶりに開催いたしました。

コロナ過の中、高等部3年生と先生方で50余名の参加と、当クラブは井元会長をはじめ会員の皆様の参加をいただきました。

コロナの流行で3年生は初めての『招待ボウリング』で、生徒さんも先生方も期待感と高揚感を感じました。プレーヤー・応援者の拍手、歓声、ハイタッ

チで会場の熱気を感じ、開催ができるかどうかで、もやもやしていた気持ちも疲れも一気に吹き飛びました。

後日、生徒さんからの作業作品や感謝の言葉で埋め尽くされた寄せ書きを頂き大変嬉しく思います。

無事に事業を終えたことに、神戸六甲ボウルの皆さん、そして神戸東ロータリークラブの皆さんに感謝し御礼申し上げます。

(社会奉仕委員長 鮑 悦初)



友生支援学校招待ボウリング大会を開催しました



令和5年1月27日（金）、神戸六甲ボウルにて神戸市立友生支援学校の生徒の皆さんにボウリングを楽しんで頂く社会奉仕事業を3年ぶりに開催いたしました。

当日はコロナと寒波の中、生徒さんと先生方で52名の参加と、当クラブは井元会長をはじめ会員の皆様の参加をいただきました

はじめの会での生徒代表挨拶で、ストライクを目指して頑張ること。お互いのプレーに『ナイス』、『どんまい』の声を掛け合いましょうとの挨拶が印象的でした。

実際のプレーでもプレーヤー、応援者の歓声、ハイタッチの嵐は挨拶通りで、各生徒さんの表情も、満足感、達成感、そして自信に満ちた表情でした。終了後の先生からは、生徒たちも口々に“面白かった！”と話しているとうかがいました。友生支援学校の生徒の皆さんにボウリングを楽しんで頂けたと遣り甲斐を感じています。

無事に事業を終えたことに、神戸六甲ボウルの皆さん、そして神戸東ロータリークラブの皆さんの応援に感謝し御礼申し上げます。

(社会奉仕委員長 鮑 悦初)

第2回会員親睦会を大雪の中開催しました



大変な雪となった1月24日、神仙閣神戸店にて48名のご参加で第2回会員親睦会を行いました。

第1回会員親睦会に続き伴さんによる素敵な司会からはじまった会では、美味しい中華料とともにチャイナドレス姿の8名のバンケットアテンダントによるテーブルサービス、沢山のワインもお召し上がりいただき、非常に楽しい親睦を行うことができました。今回もくじ引きによる席次により、普段お話をする機会の少ない会員とも交流を行うことができましたと思います。また最近ご入会された福田大介さ

ん、入船正さん、伊藤正さん、中村芳信さん、続木良平さんによる自己紹介タイムのあと、伊藤正会員によるサプライズの歌唱で大いに盛り上がりしました。

今年最初の親睦会で当初は参加会員が少ないかと心配しておりましたが、翌日の交通状況が悪くなるほどの大変な雪の中、48名と沢山の会員ご参加と親睦委員会の皆さんの行動力に感謝しています。本当にありがとうございましたー！

(親睦委員長 森本 光一)





▲ 9月27日「国際液化水素サプライチェーン構築への取組み」
川崎重工業 常務執行役員 原田 英一 氏



▲ 11月1日「私の流儀 正々堂々 Fair&Square」
和田興産特別顧問 高島 武郎 氏



▲ 10月4日「たかが歌、されど歌」
唐渡 吉則 氏



▲ 11月8日「労働局から“あっせん”通知が届いた！
～あっせん手続の実際と最近の動向～」
弁護士 柴田 真里 氏



▲ 10月18日「イノベーションを起こす土壌
～ Google およびシリコンバレー文化」
シスメックス株式会社 エクゼクティブ・エンジニア
石原 直樹 氏



▲ 11月15日「神戸市 2025 ビジョンについて」
神戸市企画調整局長 辻 英之 氏



▲ 11月29日「それでも アマゾン使いますか？」
榎野孝人 会員



▲ 1月24日「パナグループが挑戦する地方創生への取り組み
～淡路島で実現する真に豊かな生き方・働き方～」
株式会社パナグループ 常務執行役員
CBO 松村卓司 氏



▲ 12月13日「歯ブラシと予防歯科が大事な理由」
藤本義洋 会員



▲ 1月31日「藤原鎌足か!?!」
～古墳の遺体に遺された最古の傷跡～
帝塚山大学客員教授 牟田口章人 氏



▲ 1月17日「変わる、変える、ジェンダーを超えて」
神戸新聞社 経営企画局 教育事業戦略室長
富居雅人 氏



▲ 2月7日「聞こえる放送から「伝わる放送」へ」
TOA 株式会社 菅原茂 氏
高橋 慧 氏

余韻会 (俳句同好会)

令和四年八月二日

於 ホテルオークラ神戸 桜の間

白砂の風紋涼し浜涼し

奥田 好子

サンガラスぎらりと光る北野坂

角田 伯堂

サンガラス頭にかけて話し込む

則岡 弘士

新幹線富士の夏山雲隠れ

塚本 宗哲

縁側の涼しき音に誘はれて

松谷 泰山

川床涼し川面を渡る風戦ぐ

神田 淡京

対岸の木々の揺らぎの涼しけり

小林 一也

笑ひ声洩るる法話の堂涼し

村野 離翔

余韻会 (俳句同好会)

令和四年九月二十七日

於 ホテルオークラ神戸 桜の間

颱風の予報ほどでもなく一過

奥田 好子

台風の方見ながら酒を飲む

角田 伯堂

コスモスと背くらべして一年生

則岡 弘士

台風が洗ひ流した今日の

塚本 宗哲

颱風や山川草木荒れ狂ふ

松谷 泰山

潮の色変はり始めて颱風圏

吉井 聖倅

颱風や抜きつ抜かれてカーチェイス

神田 淡京

退院の祝ひの席に新酒かな

小林 一也

颱風の避難の小屋の読書かな

村野 離翔



余韻会 (俳句同好会)

令和四年十月二十五日

於 ホテルオークラ神戸 桜の間

六甲の風透とほる秋高し

奥田 好子

神宮の鳥居見上げて秋高し

角田 伯堂

淡路島ひとかたまりの秋の雲

則岡 弘士

グライダー上昇気流天高し

塚本 宗哲

白壁に柿の実映ゆる奈良の寺

松谷 泰山

秋高し留学生も練り歩く

吉井 聖倅

身にしみる柿の甘さよ二日酔

神田 淡京

秋高し渡月橋にも人戻り

小林 一也

余韻会 (俳句同好会)

令和四年十一月二十九日

於 ホテルオークラ神戸 桜の間

日時計に鳩の遊べる冬日和

奥田 好子

縁側で苦吟してゐる冬日和

角田 伯堂

杉の木を風除けにして一軒家

則岡 弘士

北極の事など案じ冬日和

塚本 宗哲

公園の親子の笑顔冬日和

松谷 泰山

冬晴れや鞆の重き試験前

吉井 聖倅

寄鍋や昔話に花が咲き

神田 淡京

寄鍋や細々忙し鍋奉行

小林 一也



絵と文 香山 道宣

「アマルフィの賑わい」

アマルフィは、世界一美しい海岸といわれるイタリアの高級リゾート地。もうあの頃の賑わいも戻っていることでしょう。

CONTENTS

第1回会員親睦会	1
米山記念奨学生報告	3
ポリオ撲滅チャリティーコンペ	5
第7回KOBEっこ親善ラグビー大会	6
ロータリー財団月間	8
忘年家族会	11
青陽灘高等支援学校招待ボウリング大会	14
友生支援学校招待ボウリング大会	15
第2回会員親睦会	16
例会スナップ	18
余韻会	20

編集後記

2022-2023年度 第2号の会報をお届けいたします！

本年度の井元会長テーマ「Wind of Smile」を目指し、会員一丸となって奉仕活動、会員・家族親睦会、各同好会、そして新しく迎えた会員との交流など、まさに“笑顔の風”運ぶクラブの活動を記録することができたと思っております。

新型コロナウイルス流行から3年。「愈々つらい時代から抜け出す事が出来るのか」との声が聞こえだしました。これからも益々の笑顔をもってクラブライフを楽しみたいものですね。

原稿の依頼等、多大なご協力を頂いた皆様に感謝申し上げます。

広報委員長 高橋 恵信